

## 健康アドバイス

下肢静脈瘤とは、本来、脚の先から心臓へ向かって流れる静脈血が、脚の付け根やひざ裏にある静脈の弁が壊れることによって、逆流して脚の表面の静脈にたまって瘤(こぶ)をつくる病気です。典型的な症状は、1、立つと脚の表面にこぶができる、2、長時間立っていると脚がだるくなる、痛くなる、3、脚のむくみがひどい、4、脚のかゆみ、湿疹(しっしん)、傷が治りづらいなどです。

下肢静脈瘤は出産後の女性(30歳以上)に特に多くみられる疾患です。理由は、妊娠でおなかが大きくなる時期に、おなかの

太い静脈が圧迫されて、脚から心臓に戻る静脈血が戻りづらくなり、脚の表面の静脈に逆流してたまってしまいうからです。下肢静脈瘤は遺伝性疾患でもあり、親が下肢静脈瘤であれば、妊娠・出産を経験していない方でもなることがあります。また、飲食物や販売など長時間の立ち仕事をしている男性にも見られます。

治療の基本は脚の静脈の逆流を止めることですが、方法は大きく2つあります。1つは、弾性ストッキング(医療用)を装着する保存的な方法です。軽症の下肢静脈瘤では、この弾性ス

## 下肢静脈瘤りゅうについて

医療法人社団 みやざき外科・  
ヘルニアクリニック  
院長 宮崎 恭介

# 北海道新聞

夕刊

2006年

9月4日 月

発行所

北海道新聞社

〒060-8711

札幌市中央区大通西3丁目6

電話 011-221-2111